

科目区分	専門教育科目	授業科目名	秘書概論			科目コード	24L304	担当者	江頭 万里子			担当形態	単独	
対象学科・コース	生活創造学科 ビジネス・医療秘書コース	配当年次	1年次	開講学期	前期	単位数	2	必修・選択の別	必修	免許・資格要件	秘書士必修、医療管理秘書士／診療実務士必修			
授業形態	講義	履修条件										教育職員免許法施行規則に定める科目区分等	科目区分	
実務の経験を有する教員担当科目		該当	実務の経験内容及び科目との関連	地方銀行本店秘書室勤務の経験を活かして、秘書の仕事について授業を行う。							科目に含めることが必要な事項			

授業の主題	秘書について学び、オフィスワークの基本を理解する。	課題等への対応 (フィードバックの方法等)	課題にはコメントを付けて返却するか、授業時にコメントする。
授業の方法	講義に加え、グループディスカッションを用いて授業を進める。	アクティブ・ラーニングの実施方法	特定のテーマについてのディスカッションを通して理解を深める方法を用いる。

回数	授業計画	事前・事後学修	回数	授業計画	事前・事後学修	
第1回	オリエンテーション、秘書とは	事前：シラバスを読む 事後：授業内容を復習し、秘書の定義を理解する。	第9回	秘書に必要な知識と技能（会議・ビジネス文書）	事前：テキストp189～p225を読み、課題を済ませる。 事後：課題の解説を踏まえ、改めて問題を解く。	
第2回	秘書に求められる資質	事前：テキストp12～p31を読み、課題を済ませる。 事後：課題の解説を踏まえ、改めて問題を解く。	第10回	秘書に必要な知識と技能（文書の管理、日程管理、環境整備）	事前：テキストp234～p275を読み、課題を済ませる。 事後：課題の解説を踏まえ、改めて問題を解く。	
第3回	秘書の役割と機能	事前：テキストp37～p52を読み、課題を済ませる。 事後：課題の解説を踏まえ、改めて問題を解く。	第11回	社会人としての職業意識	事前：これまでの授業内容から職業人としての心構えを考える。 事後：授業の要点をまとめ、復習に励む。	
第4回	秘書と会社組織	事前：テキストp59～p83を読み、課題を済ませる。 事後：課題の解説を踏まえ、改めて問題を解く。	第12回	社会人に必要な一般知識（会社活動の基礎知識）	事前：配布資料を読む。 事後：授業の要点をまとめ、復習に励む。	
第5回	秘書に必要な能力（話し方・聞き方）	事前：テキストp91～p117を読み、課題を済ませる。 事後：課題の解説を踏まえ、改めて問題を解く。	第13回	社会人に必要な一般知識（仕事の取組み方とルール）	事前：配布資料を読む。 事後：授業の要点をまとめ、復習に励む。	
第6回	秘書に必要な能力（敬語と接遇用語）	事前：テキストp122～p130を読み、課題を済ませる。 事後：課題の解説を踏まえ、改めて問題を解く。	第14回	社会人に必要な一般知識（社会保険と税金）	事前：配布資料を読む。 事後：授業の要点をまとめ、復習に励む。	
第7回	秘書に必要な知識（接遇）	事前：テキストp135～p150を読み、課題を済ませる。 事後：課題の解説を踏まえ、改めて問題を解く。	第15回	臨時テストと解説	事前：臨時試験の出題範囲の内容を事前に学習する。	
第8回	秘書に必要な知識（慶事・弔事・贈答）	事前：テキストp155～p174を読み、課題を済ませる。 事後：課題の解説を踏まえ、改めて問題を解く。			事前・事後学修時間 (分／授業1回)	180分／授業1回

教科書 [書名／著者名／出版社]	秘書検定パーフェクトマスター2級／公益財団法人 実務技能検定協会／早稲田教育出版	受講生へのメッセージ	課題を済ませて出席することが原則です。秘書検定2級対策講座を受講してください。普段から新聞を読み、知らないことばや用語は調べる習慣をつけましょう。授業にはスーツを着用して出席してください。
参考書 [書名／著者名／出版社]	印刷資料を適宜配布します。		

評価基準																
	学修成果の大分類	学修成果の中分類 [10の力]	配点比率 (%)	評価方法の配点比率 (%)					学修成果の小分類			尺度				
				定期試験	臨時試験	提出物	発表内容	受講態度	実習評価	学修成果の到達目標	修得する能力	評価方法/評価指標	レベル5 (S : 100~90%)	レベル4 (A : 89~80%)	レベル3 (B : 79~70%)	レベル2 (C : 69~60%)
観点	尽心	① 学習意欲	30		20		10	事前学習の課題を済ませて、受講できる。欠席後のフォローができる。	真面目さ、自己管理能力	授業や課題への取り組み、欠席後のフォロー	全ての課題を期限までに提出した。主体的に欠席後のフォローができる。	全ての課題を提出したが、期日に送れた提出物が10%程度あり。主体的に欠席後のフォローができる。	全ての課題を提出したが、期日に送れた提出物が20%程度あり、自主的な欠席後のフォローが遅れた。	全ての課題を提出したが、期日に遅れた提出物が30%程度あり、自主的に欠席後のフォローができない。	課題を提出しない。欠席後のフォローを行わない。	
		② 規律性														
	知識・技能	③ 知識	70	70				秘書技能検定2級合格レベルの知識を習得し、基本的な秘書業務について説明できる。	専門的知識	臨時試験、小テストの成績	秘書に関する知識を十分に有しており、他者に説明できる(得点率90%以上)	秘書に関する知識を十分に有しており、他者にある程度説明できる。(得点率89~80%)	秘書に関する知識を有しており、他者に説明できる。(得点率79~70%)	秘書に関する知識をある程度有しており、他者に説明できる。(得点率69~60%)	秘書に関する知識が不十分であり、他者に説明できない。(59%以下)	
		④ 技能														
	創造	⑤ 情報活用能力														
		⑥ 課題解決力														
	表現	⑦ 言語活用能力														
		⑧ コミュニケーション力														
	実践	⑨ 主体性														
		⑩ 協働性														
合計			100	70	20		10									